

カーボンニュートラルへの挑戦！～蓄電池業界を牽引するゲームチェンジャーの育成～

現状

【自治体・専門高校】

- ・我が国に加え世界各国は、2050年前後のカーボンニュートラルの実現を国家目標として設定している。
- ・脱炭素社会の実現に向けた取組は、気候変動対策だけでなく、新時代の経済成長の源泉となっている。
- ・蓄電池は、脱炭素社会の社会インフラや経済安全保障の観点から重要な産業分野である。
- ・関西圏では、今後5年間に合計約1万人の雇用が見込まれる。
- ・関西蓄電池人材育成等コンソーシアムでは、教材（授業テンプレート）が開発されその活用と成果が期待されている。
- ・Society5.0を支える人材として、工業の技術力が求められる中、工業高校へ入学する生徒が減少している。

課題

- ・今後もグローバルで市場の成長が予測されており、人材の育成・確保は喫緊の課題である。
- ・工業高校で実施する教育プログラムが、学校を取り巻くステークホルダーのニーズに対応できていない。
- ・短期的な産学連携に留まり、外部ソースの獲得が不足している。
- ・蓄電池に関する教材の活用と成果の検証、専門知識を有する生徒および教員の育成が必要である。

実施内容

【自治体】

- ・マイスター・ハイスクール運営委員会の指導・助言
- ・他府県のマイスター・ハイスクールに関する取組を情報発信
- ・県内の連携校（兵庫県立洲本実業高校）との調整
- ・産業労働部、近畿経済産業局との連携・調整
- ・実習装置等の導入・調整
- ・関西蓄電池人材育成等コンソーシアムに所属する大阪府、和歌山県の高校との調整（教育委員会間の連携）
- ・成果発表会に関する会場及び講師派遣等の支援
- ・学校設定科目の指導・助言
- ・カーボンニュートラルに関する探究学習の指導・助言

【専門高校】

- ・バッテリーに関する学習（座学・実習）
※関西蓄電池人材育成等コンソーシアムで作成された授業テンプレートを活用
- ・大学の学識者による授業（座学）及び研究授業
- ・企業技術者による授業（実習）及び技術研修
- ・生徒、教員対象の企業・大学等への視察及び実習体験
- ・関西蓄電池人材育成等コンソーシアムに加盟する近畿の高校と交流（大阪府、和歌山県）
- ・カーボンニュートラルに関する探究学習
- ・小・中学生向け出前授業
- ・連携校（兵庫県立洲本実業高校）への情報交換、発信
- ・成果発表会（生徒・教員）← 連携校も参加
※外部講師による特別講演会の開催及び県下の工業高校への案内

目的

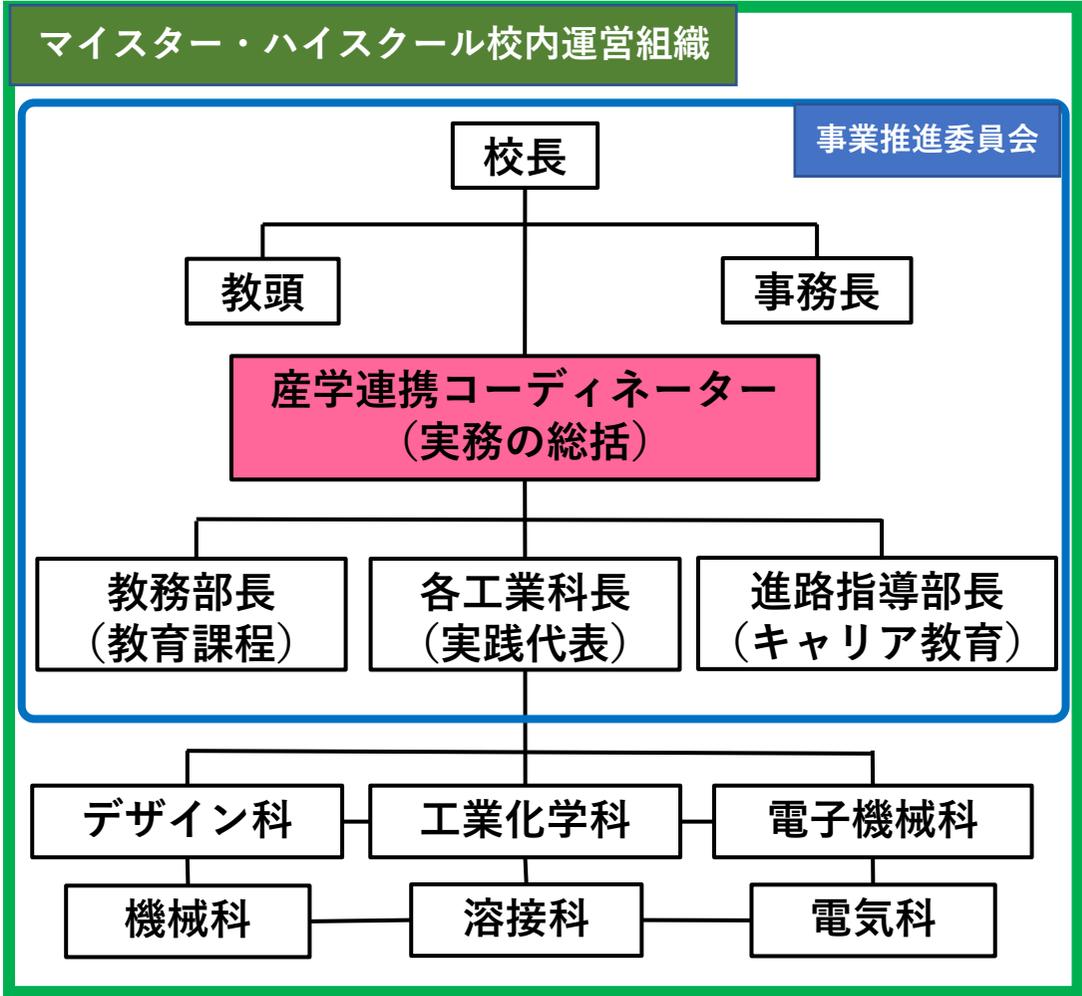
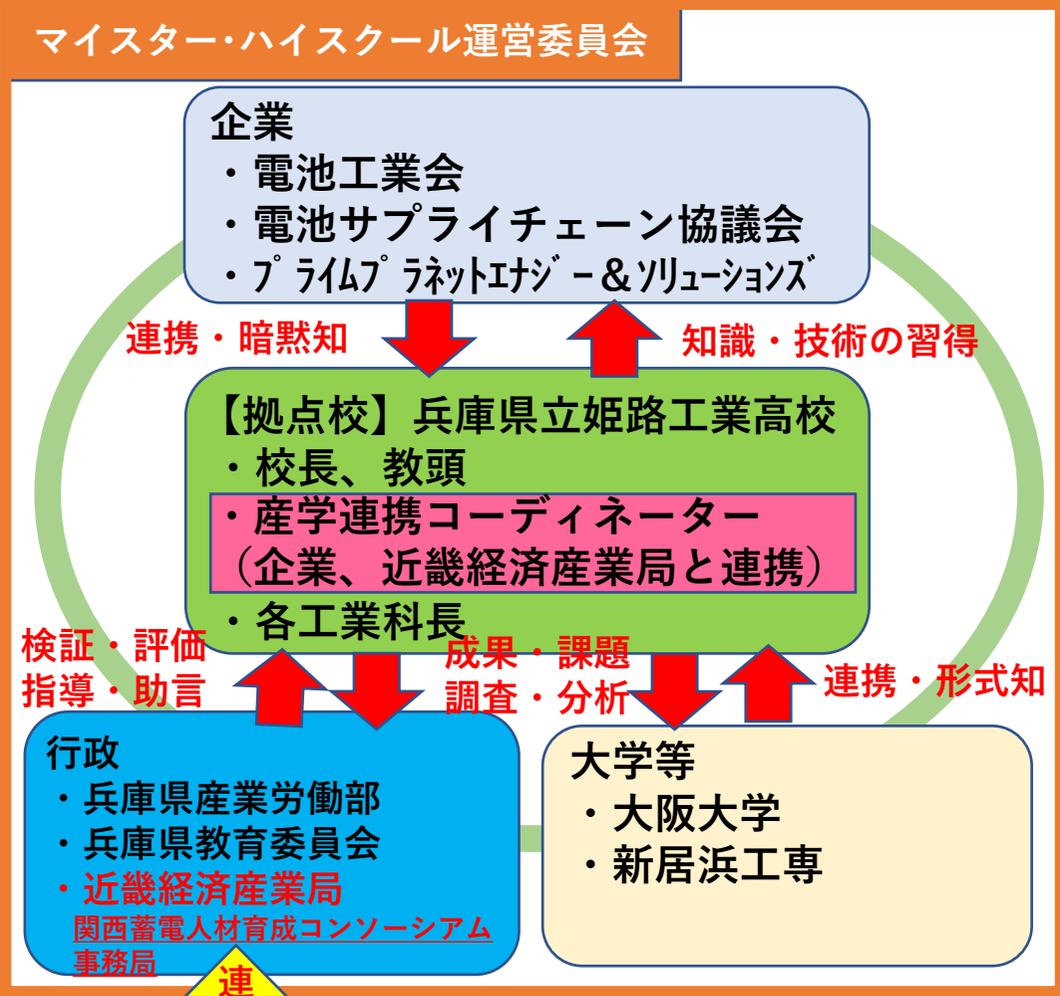
【自治体】

- ・カーボンニュートラル社会のキーテクノロジーである蓄電池技術を支える技術者を社会に輩出し、新たな価値を創造する人材の育成
- ・「工業×環境」によりカーボンニュートラル社会の実現に取り組む企業との連携を支援
- ・産業界、大学、高専、行政等が連携した教育プログラムの周知・広報

【専門高校】

- ・専門高校の特色化・魅力化による定員充足率の向上
- ・地域社会との持続可能な連携による人材育成（生徒・教員）、イノベーションの創出
- ・時代のニーズに対応した教育活動及び教育課程の編成
- ・専門業高校の学びを地域社会のフィールドへ展開

カーボンニュートラルへの挑戦！～蓄電池業界を牽引するゲームチェンジャーの育成～



令和6年3月1日時点

関西蓄電池人材育成等コンソーシアム

■ 産業界

Panasonic ENERGY, prime planet energy & solutions, GSYUASA, UPM ENERGY, 日産工業, NIKKEN TOTAL SOURCING, LIBTEC, SHIMADZU, コベルコ

■ 教育機関

福井大学, 三重大学, 京都大学, KUAS 京都先端科学大学, 大阪大学, 大阪公立大学, 近畿大学, 兵庫県立大学, 大阪公立大学工業高等専門学校, 神戸高专, KOSEN, NOKAIDAI

■ 自治体・支援機関

福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、姫路市

みせんご, ポリテクセンター関西, 高年齢・障害者・求職者雇用支援機構, 産総研

事務局：近畿経済産業局、BAJ、BASC

※メンバーは今後追加の可能性あり